

ひづめみか～るさん、 「遺愛は私の自慢の学校」

雑貨ブランド「SWIMMER（スイマー）」の元デザイナー、ひづめみか～るさんが2月8日（木）、出身校の遺愛に来てくださいました。

みか～るさんは遺愛 K44 回生で、今年1月末でブランド終了となったスイマーで22年間デザイナーを務め、昨年からは北斗市の自宅を拠点にフリーランスでの活動を始めました。スイマー時代の活動をまとめ、同校出身のYUKIさんもメッセージを寄せたムック本「ひづめみか～るの福音コレクション」と函館でのイベント（蔦屋書店で開催）のために描き下ろした「イラスト」を遺愛にプレゼントしてくれました。

私自身は今回初めてイラストを拝見したのですが、本当にかわいらしいものが多く、幼稚園児から女子中高生、お母さんまで幅広い年代の人たちが大好きになってくれそうなデザインです。個人的には遺愛の制服を着たキャラクターや校舎など遺愛関連のイラストをぜひ描いて下さればと思います。「自慢の学校なのでもっと自慢したい」と言ってくれているので、引き受けられるかもとおおいに期待しています。

同学年には声楽家やニューヨークで『Vogue』の表紙を飾るファッションモデルのモデルアーティストをしている卒業生もいます。芸術系に強い生徒さんがそろっていた学年だったかもしれません。

みか～るさんのお母さんも遺愛の卒業生で、長く同窓会の仕事をして下さっていました。



函館新聞社今井正一氏撮影



寄贈して下さったイラスト

2018年2月10日（土）